

2026年4月1日
逗子市

本市初となる PPA による再生可能エネルギーの導入

本市の公共施設で初となる PPA による再エネ電力供給を4月1日から開始します。

本市では、2022年1月31日に「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル2050」を宣言し、市民・事業者が一体となり2050年温室効果ガス排出実質ゼロをめざしています。

本事業は、上記の目標達成に向けた取り組みの一つとして、逗子市立逗子小学校屋上へPPA方式※により太陽光発電設備や蓄電池等を導入し、再エネ電力の活用による温室効果ガス排出削減と災害時における電力の確保による地域レジリエンス向上に貢献するものです。

本事業により設置した太陽光発電設備による再エネ電力は、逗子小学校で活用されるほか、同一敷地内にある逗子文化プラザホール及び市民交流センターを含む3施設で活用されます。これにより、温室効果ガス排出削減効果は、3施設合計で年間約35トン、20年間で約692トンとなります。

また、避難所となる体育館の入り口や、校舎内の非常用コンセントを設置することで、PCやスマートフォン等の通信端末の充電や重要機器の電力確保が可能となり、災害時におけるレジリエンス向上につながります。

※PPA方式とは…

「Power Purchase Agreement（電力購入契約）」の呼称であり、PPA事業者が施設に太陽光発電設備を設置し、施設側は設置された設備で発電した電気を購入する契約のことです。施設側は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再エネ電力を使用することができます。

【導入設備の概要】

事業者	株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー
電力供給先	逗子小学校 他2施設
年間発電量（見込）	79,000kWh程度
発電設備容量	64.9kWh
蓄電池容量	9.8kWh
電力供給開始日	2026年（令和8年）4月1日



本件に関するお問い合わせ先：
環境都市部環境都市課 三澤
電話：046-873-1111 内線 456

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

2026年4月1日
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー

当社初となるオンサイト PPA による再エネ電力供給を開始 逗子市公共施設への再エネ電力を供給

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：池田 敬、以下「NTT-ME」）は、神奈川県逗子市が掲げる「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル」の実現に貢献するため、同市で初となる PPA 方式による再生可能エネルギー（以下「再エネ」）電力の供給を 2026 年 4 月 1 日から開始します。

なお、PPA 方式による再エネ電力の供給は、NTT-ME としても初の取り組みとなります。

■本事業の概要

逗子市は、2022 年 1 月 31 日に「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル 2050」を宣言し、市民・事業者が一体となって 2050 年までに温室効果ガスの排出実質ゼロをめざしています。

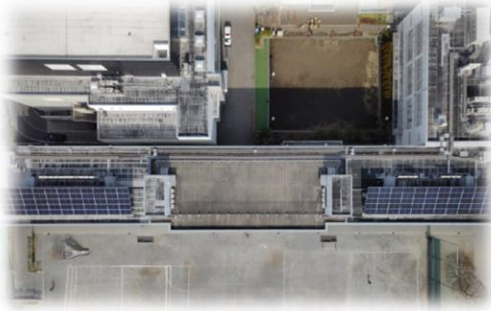
本事業は、同市の目標達成に向けた取り組みの一つとして、逗子市立逗子小学校へ PPA 方式で太陽光発電設備および蓄電池等を導入し、再エネ電力の活用による温室効果ガス排出削減と災害時における電力確保による地域レジリエンス向上に貢献するものです。

本事業により設置した太陽光発電設備による再エネ電力は、逗子小学校で活用されるほか、同一敷地内にある逗子文化プラザホールおよび市民交流センターを含む 3 施設で活用されます。これにより、温室効果ガス排出削減効果は、3 施設合計で年間約 35 トン、20 年間で約 692 トンとなります。

また、避難場所となる体育館や校舎内に非常用コンセントを設置することで、PC やスマートフォン等の通信端末の充電や重要機器の電力確保が可能となり、災害時におけるレジリエンス向上につながります。

■導入設備の概要

事業者	株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー
電力供給先	逗子小学校 他 2 施設
年間発電量（見込み）	79,000kWh 程度
発電設備容量	64.9kWh
蓄電池容量	9.8kWh



【太陽光発電設備（空撮）】



【太陽光発電設備】



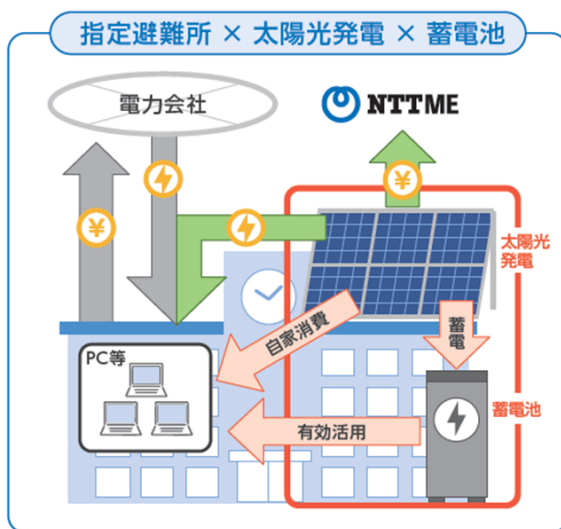
【非常用コンセント】

■NTT-ME のオンサイト PPA について

PPA（Power Purchase Agreement）とは電力販売契約の略を指します。

NTT-ME が提供する公共施設向けのオンサイト PPA は、脱炭素とレジリエンス向上を同時に実現し、これまで地域に根差して培ってきた高度なエンジニアリング力を活かし、長期にわたる保守・監視を通じて、安心・安定した再エネ電力を供給します。

NTT-MEが提案するオンサイトPPA 脱炭素と防災機能強化を同時実現



脱炭素と防災機能強化の両立

- 平時は太陽光で発電した電力を**自家消費**し、一部電力を蓄電池へ充電することで**夜間や災害等有事の際に有効活用**

第三者所有モデル

- 設備はNTT-MEが導入・所有し、再エネ電力を供給する**第三者所有モデル(PPA)のため初期投資は不要**
- 維持管理についてもNTT-MEが長期にわたり実施

再エネ電源の活用

- 発電した電気はお客様が自家消費し、消費した分の電気料金をお支払い
- **使用した電気料金以外は自治体のコスト負担ゼロ**

■三浦半島 4 市 1 町との防災力強化に向けた取り組み

NTT 東日本グループは、三浦半島に位置する横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町との防災連携協定に基づき、半島地域特有の災害リスクに対応した「災害に強い地域づくり」を推進しています。NTT-ME も、実証実験や防災訓練を通して災害時における広域連携の実現を支援しています。

本取り組みにおいて、逗子市では「ライフライン強靱化」をテーマに、①有事における通信インフラの確保、②太陽光発電による電力供給源の確保について、それぞれ実証実験の実施ならびにその成果や課題の共有を行っています。本事業はこれらの取り組みを具体的に推進するものです。

NTT 東日本グループは、こうした地域・自治体との連携による取り組みを通じて、脱炭素の推進とあわせ、災害に強い地域社会の実現に貢献してまいります。

■NTT-ME の概要

NTT-ME は「これからのつなぐを創る」をミッションに掲げた、地域に根差した『総合エンジニアリング企業』です。長年にわたり通信インフラの提供で培った確かな技術力と現場力を基盤に、End-End トータルでの ICT 環境の構築やサポート、DX ソリューションの提供、更には社会インフラ・環境エネルギー分野まで、幅広い事業を提供し、地域社会とともに課題解決と価値創造を実現していきます。

本事業を通じて、地域脱炭素とレジリエンス向上に貢献するとともに、NTT-ME が提供するさまざまなソリューション・サービスおよび保有する技術を活用し、地域循環型社会の共創をめざします。

■逗子市の概要

逗子市は、神奈川県の大磯半島の付け根に位置し、横浜市・鎌倉市・葉山市・横須賀市に接しています。

市内には、JR 横須賀線および京急逗子線が通り、横浜まで約 30 分、東京・渋谷まで約 60 分と交通利便性が高く、ベッドタウンとしても発展してきました。現在でも、「都心に通いつつ、海や山に親しめるまち」として移住者に選ばれています。



所在地	神奈川県逗子市逗子 5-2-16
代表者	市長 桐ヶ谷 覚

■お客さまからのお問い合わせ先

オンライン PPA に関するお問い合わせ・ご関心をお持ちの方のご連絡をお待ちしております。以下フォームよりお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせフォーム | NTT-ME

<https://www.ntt-me.co.jp/contact/?q=8>

※本リリースは、NTT グループが展開する GX ソリューションブランド「NTT G×Inno（エヌティティ ジーノ）」※の取り組みの 1 つです。



URL: <https://group.ntt.jp/group/nttgxinno/>

※「NTT G×Inno」は、NTT 株式会社の登録商標です。

「NTT GX（Green Transformation）× Innovation」の略称であり、社会へのソリューション提供を通じて GX 分野で Innovation(変革)をおこし、2050 年カーボンニュートラルの実現に貢献していく取り組みです

以上

本件に関する報道機関のお問い合わせ先

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー

経営企画部 経営企画部門 広報担当

contact-form-nttme-ml@east.ntt.co.jp